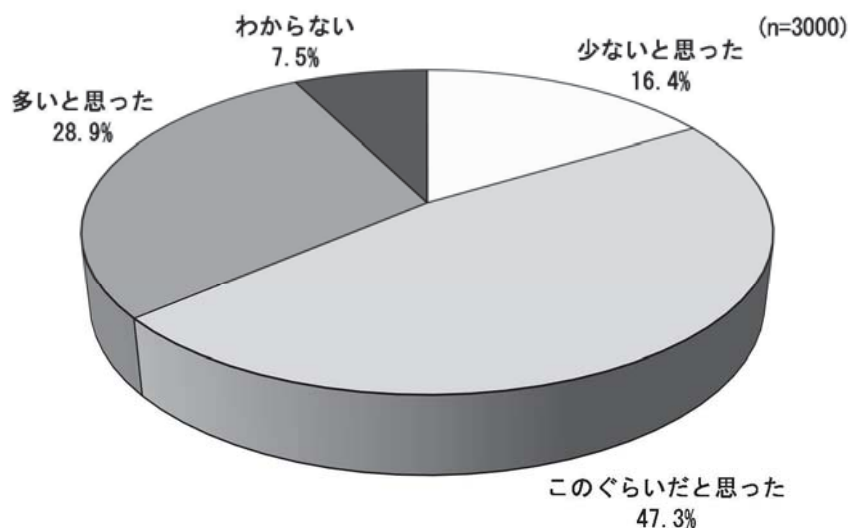


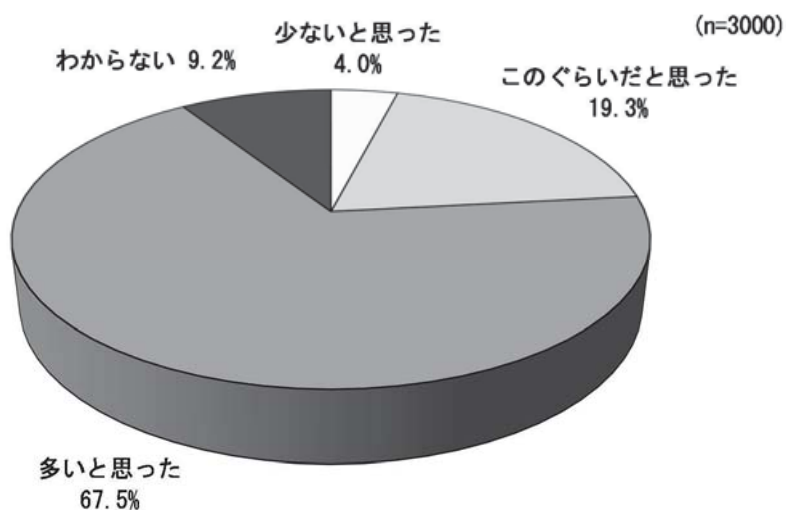
問19. 日本の平成25年中の交通事故死者数のうち、高齢者は2,303人で、全体の52.7%でした。高齢者の割合（52.7%）の印象について、下記から1つ選んでください。

・平成25年中の交通事故者数のうち、高齢者が52.7%を占めたことに対する印象として、最も多かった回答は「このぐらいだと思った」（47.3%）であり、次いで「多いと思った」（28.9%）、「少ないと思った」（16.4%）となっている。



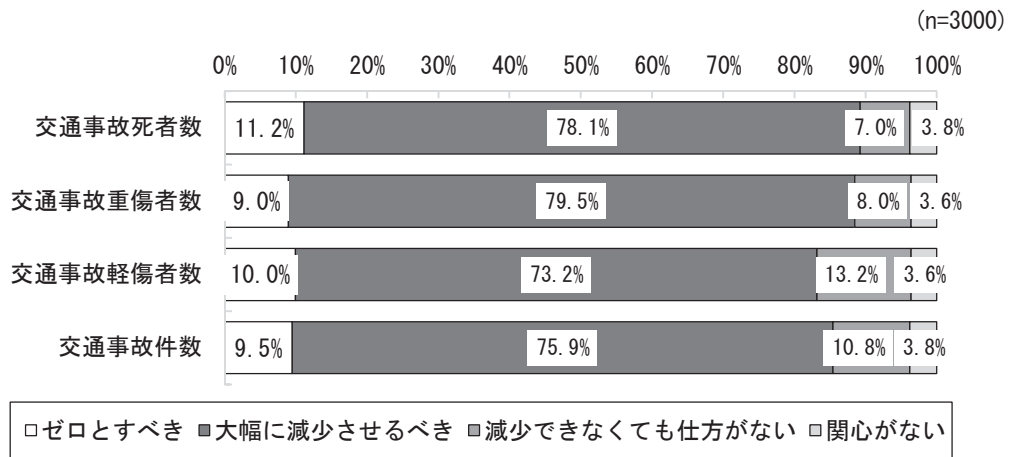
問20. 日本の平成25年中の交通事故死傷者数（死者数+負傷者数）は約78.6万人（1日あたり約2,200人）でした。交通事故死傷者数の印象について、下記から1つ選んで下さい。

・平成25年中の交通事故死傷者数（死者数+負傷者数）が約78.6万人であることに対する印象として、もっとも多かった回答は、「多いと思った」（67.5%）であり、次いで、「このぐらいだと思った」（19.3%）、「わからない」（9.2%）となっている。



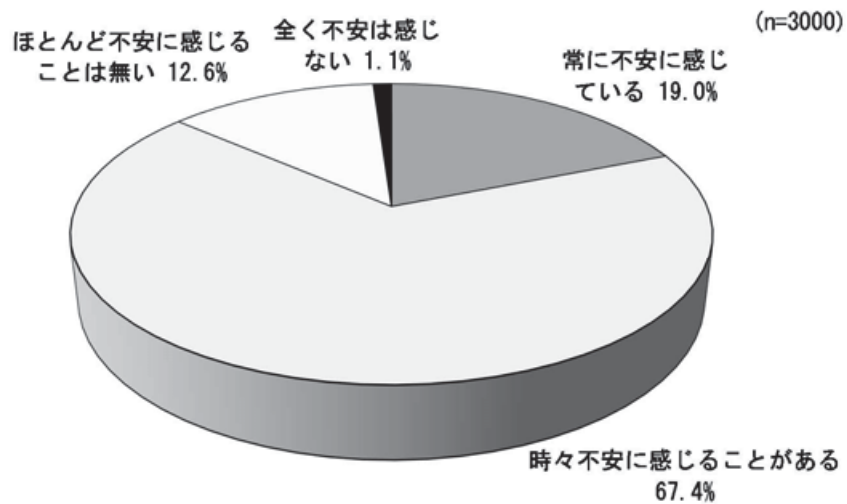
問 2 1. 交通事故に関する以下のそれぞれの項目について、以下の中から、あなたの考え方に一番近いものを1つずつお教えてください。

・交通事故に関する死者数、重傷者数、軽傷者数、事故件数はいずれも8割以上が「大幅に減少させるべき」、または「ゼロとすべき」という回答となっており、「減少できなくても仕方ない」、「関心がない」を大きく上回る結果となった。



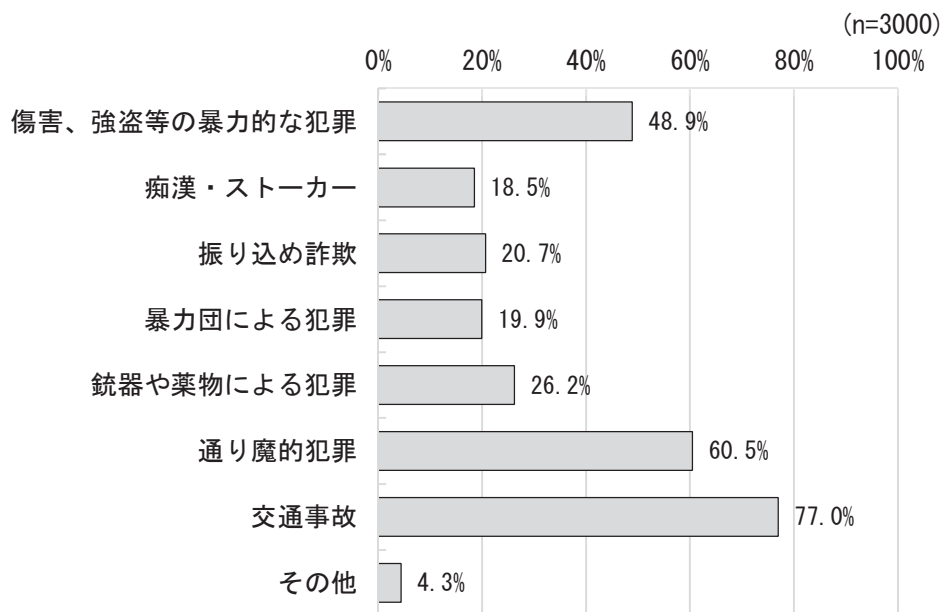
問 2 2. 交通事故について、普段どのくらい不安に感じていますか。下記から1つ選んで下さい。

・交通事故について普段感じる不安について、「時々感じる」(67.4%)と「常に不安を感じている」(19.0%)の合計は86.4%と高い数値となっており、「ほとんど不安に感じない」(12.6%)、「全く不安を感じない」(1.1%)を大きく上回っている。



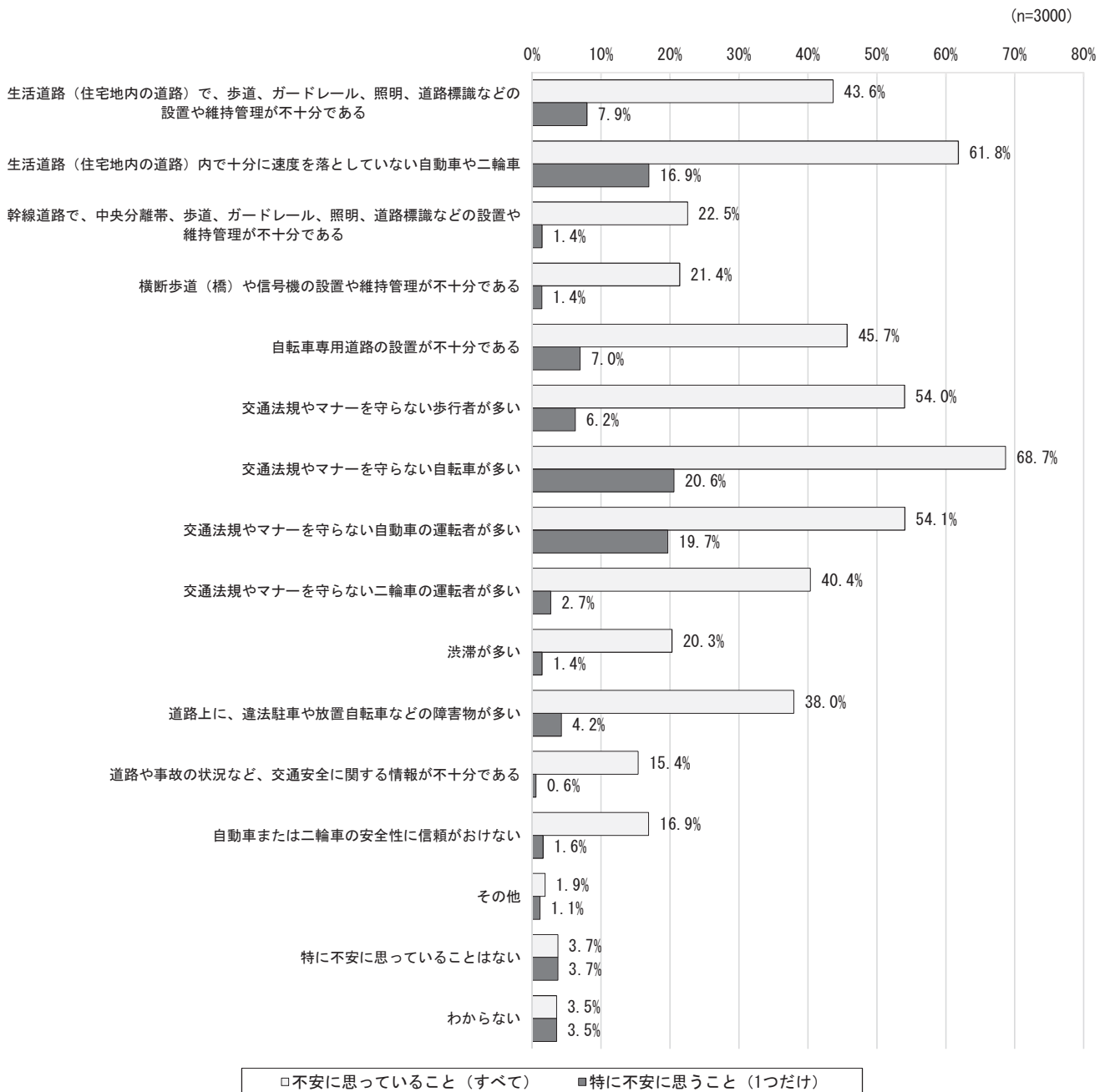
問23. 次のうち、あなたが日常で特に不安に感じることをすべて選んでください。

・日常で最も感じる不安は「交通事故」(77.0%)となっており、次いで「通り魔」(60.5%)、「傷害、強盗」(48.9%)等の犯罪があげられている。



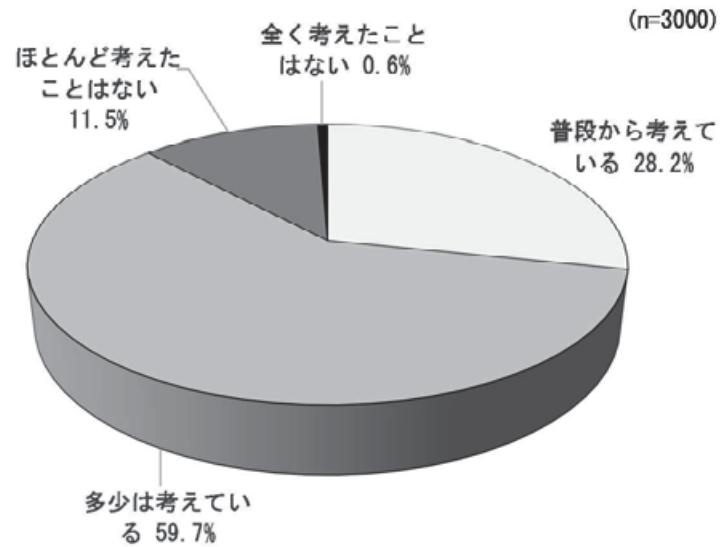
問24. あなたは、日頃、交通安全上、不安に思っていることがありますか。あるとすれば、どんなことでしょうか。該当するものをすべて選んで下さい。また、その中から特に不安に思うことを1つ選んで下さい。

・日頃、交通安全上、不安に思っていることとして「交通法規やマナーを守らない自転車が多い」(68.7%) がもっとも多く、次いで「生活道路内で十分速度を落としていない自動車や二輪車」(61.8%) となっている。1つだけあげる特に不安なことについても「交通法規やマナーを守らない自転車」(20.6%) が最も多くあげられた。



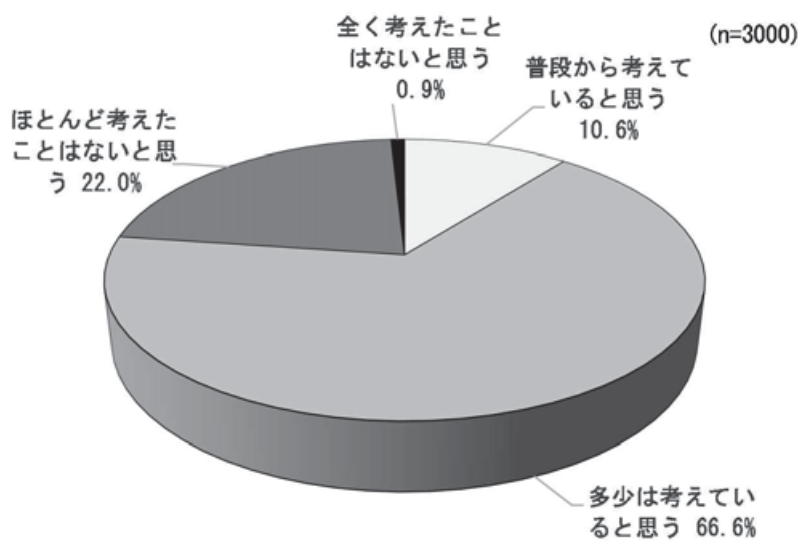
問25. 交通安全に関して、普段どのくらい考えていますか。下記から1つ選んでください。

- ・交通安全に関して考える頻度については、「普段から考えている」や「多少は考えている」といった回答が多く、合わせて87.9%であった。
- ・一方、「ほとんど考えたことはない」、「まったく考えたことはない」といった回答は少なく、合わせて12.1%であった。



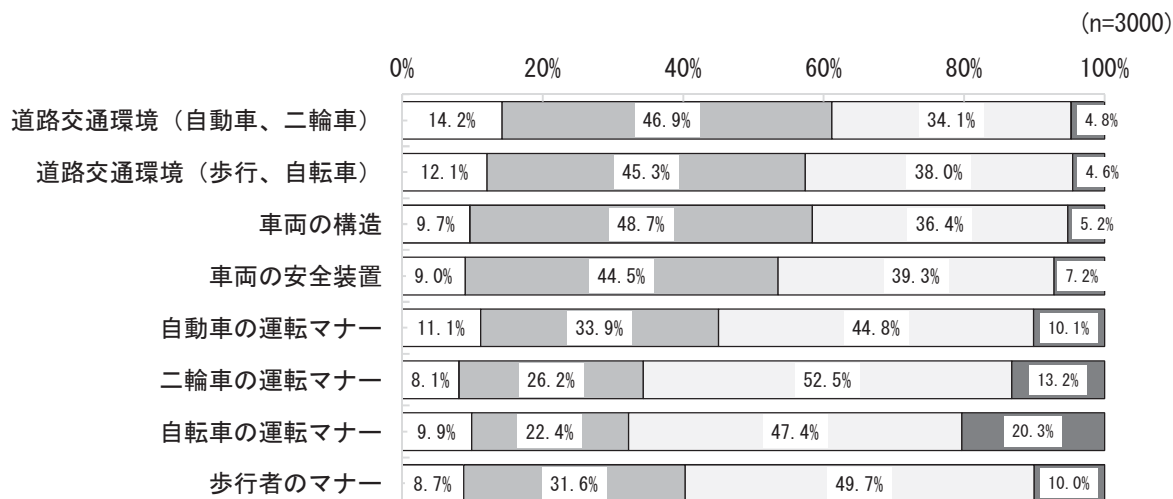
問26. 交通安全に関して、あなた以外の人は、普段どのくらい考えていると思いますか。下記から1つ選んでください。

- ・他者が交通安全に関して考える頻度は、「普段から考えていると思う」や「多少考えていると思う」といった回答が多く、合わせて77.2%であった。
- ・一方、「ほとんど考えたことはないと思う」、「全く考えたことはない」といった回答は少なく、合わせて22.9%であった。



問27. 現在、道路を通行するときに「安全・安心」を実感していますか。それぞれの項目について、以下の中から最も該当するものを1つ選んでください。

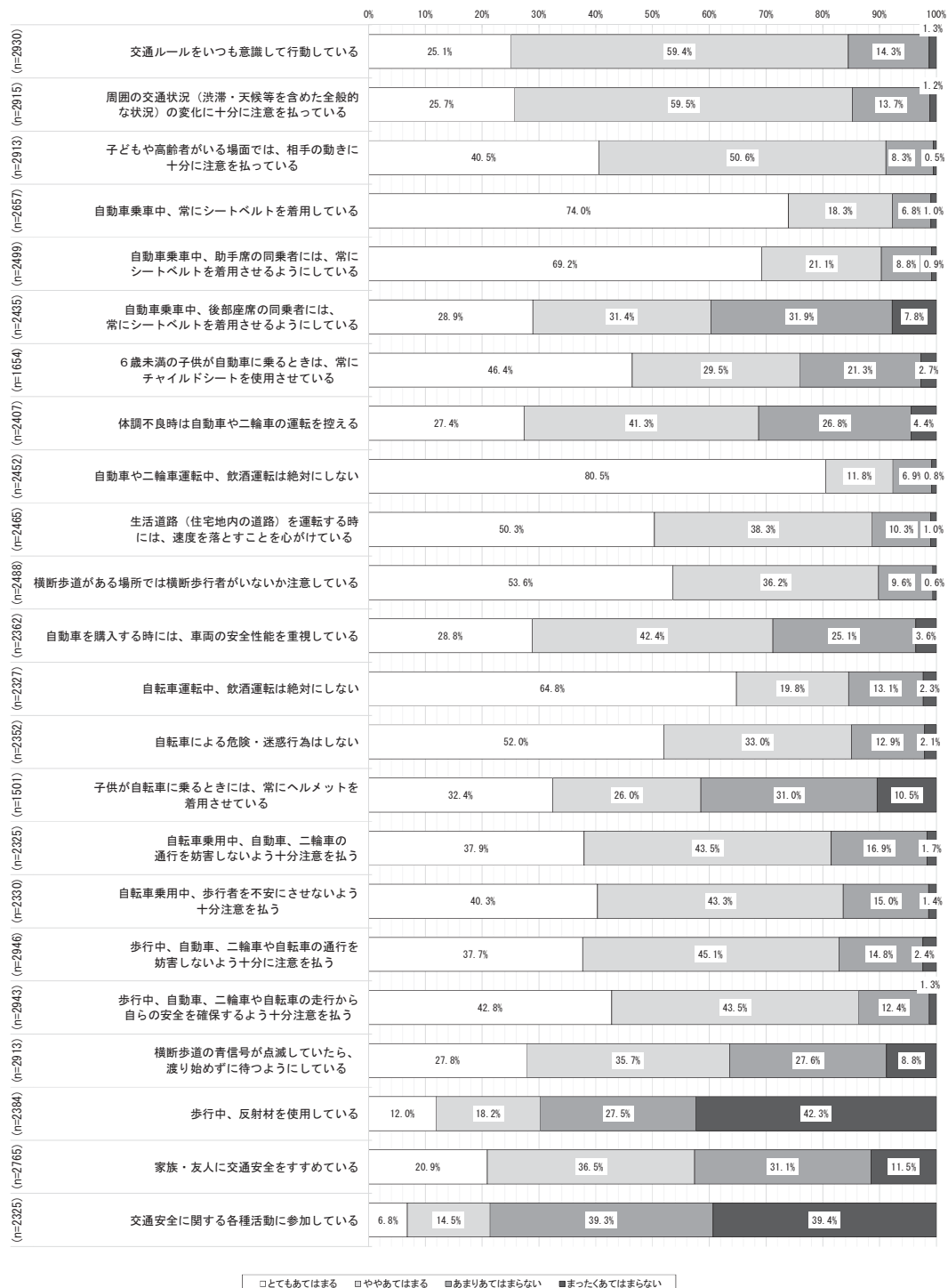
・安全・安心を実感しているといった回答の方が多かったものとしては、「車両の構造」があげられる。一方、「自動車の運転マナー」、「二輪車の運転マナー」、「自転車の運転マナー」、「歩行者のマナー」については、安全・安心を実感していないといった回答の方が多かった。



□とても実感している □やや実感している □あまり実感していない ■まったく実感していない

問28. 交通安全に関するあなたの行動について教えてください。それぞれの行動について該当するものを1つ選んで下さい。

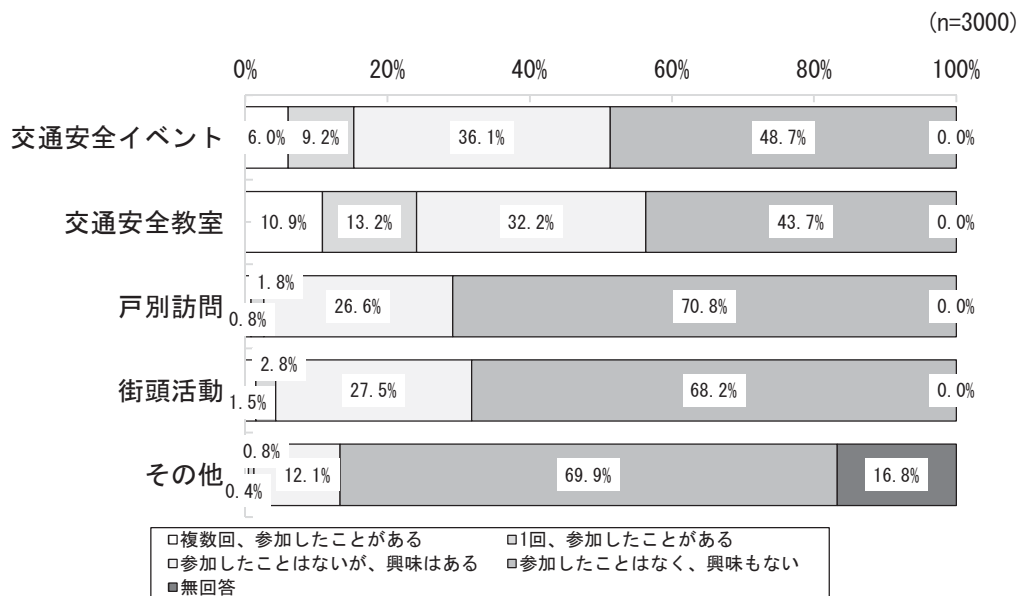
- 回答者の意識が高く、「とてもあてはまる」との回答が特に多かった項目としては、「自動車運転中、常にシートベルトを着用している」(74.0%) や「自動車や二輪車運転中、飲酒運転は絶対にしない」(80.5%) が挙げられる。
- 一方回答者の意識が低く、「まったくあてはまらない」との回答が特に多かった項目としては、「歩行中、反射材を使用している」(42.3%) や「交通安全に関する各種活動に参加している」(39.4%) が挙げられる。



注) アンケートでは「該当しない」の選択肢も加えて聴取しているが、上記グラフではn値から除外して比率を算出している。

問29. あなたは、国、都道府県、都道府県の一部の地域、関係団体等が実施している交通安全普及啓発活動のうち、どのような活動に参加したことがありますか。それぞれの活動について参加状況を1つ選んでください。

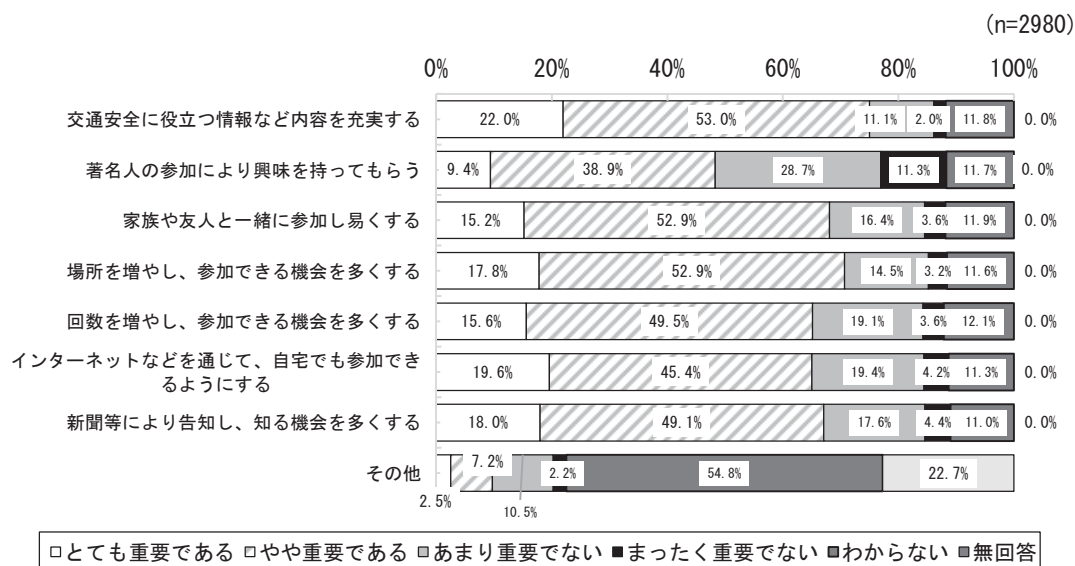
- 交通安全イベントについては、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は15.2%であった。
- 交通安全教室については「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、24.1%であった。
- 戸別訪問については、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、2.6%であった。
- 街頭活動については、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、4.3%であった。
- その他の活動については、「複数回、参加したことがある」もしくは「1回、参加したことがある」と回答した人は、1.2%であった。



問29でいずれかの交通安全普及啓発活動について、1つでも、「参加したことはないが、興味はある」、または「参加したことはなく、興味もない」とお答えの方に伺います。

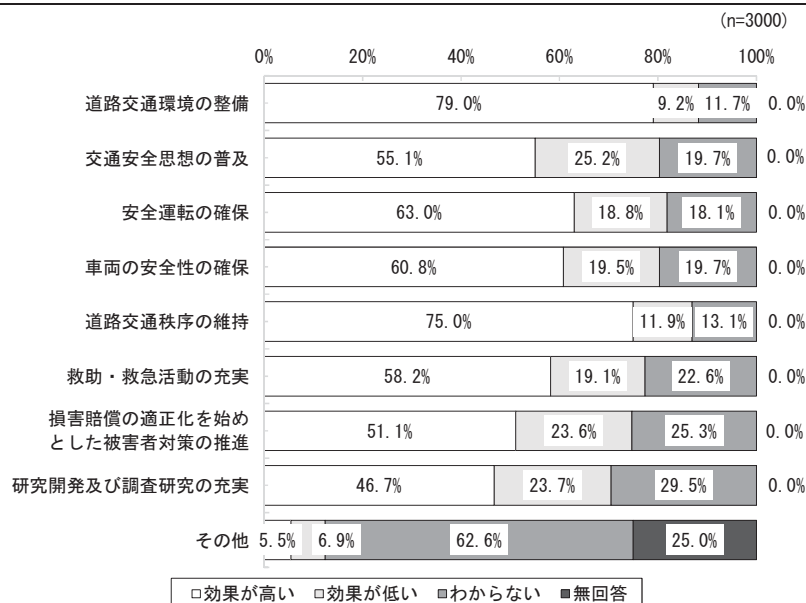
問29-2. 参加を促す、または興味を持ってもらうためにはどのような改善が重要だと思われますか。それぞれの項目について該当するものを1つお答えください。

・交通安全普及啓発活動について、参加を促す、または興味をもってもらうために有効と思われる改善策について、重要であるという意見が最も多かったのは、「交通安全に役立つ情報の充実」(22.0%)、次いで「インターネットなどを通じて自宅でも参加できるようにする」(19.6%)であった。



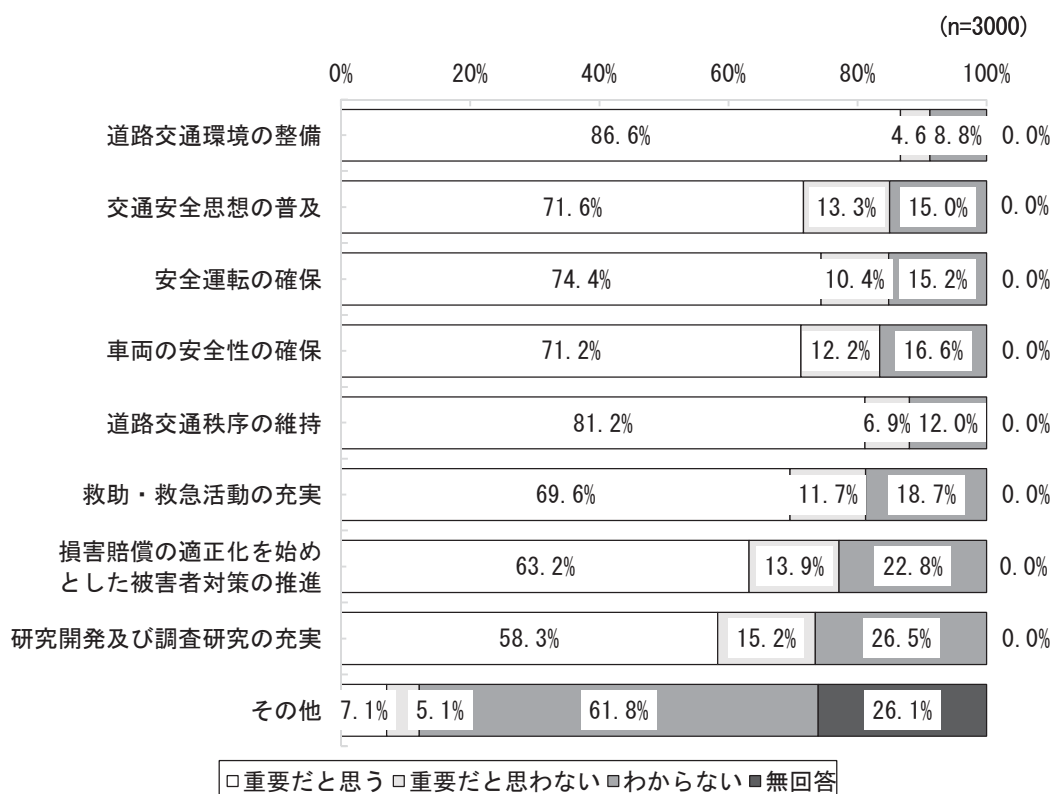
問30. 現在、進められている交通安全対策について、どの程度効果があると思いますか。該当するものを1つお答えください。

・現在進められている交通安全対策について、最も効果が見込まれると回答があったのは「道路交通環境の整備」(79.0%)、次いで「道路交通秩序の維持」(75.0%)であった。



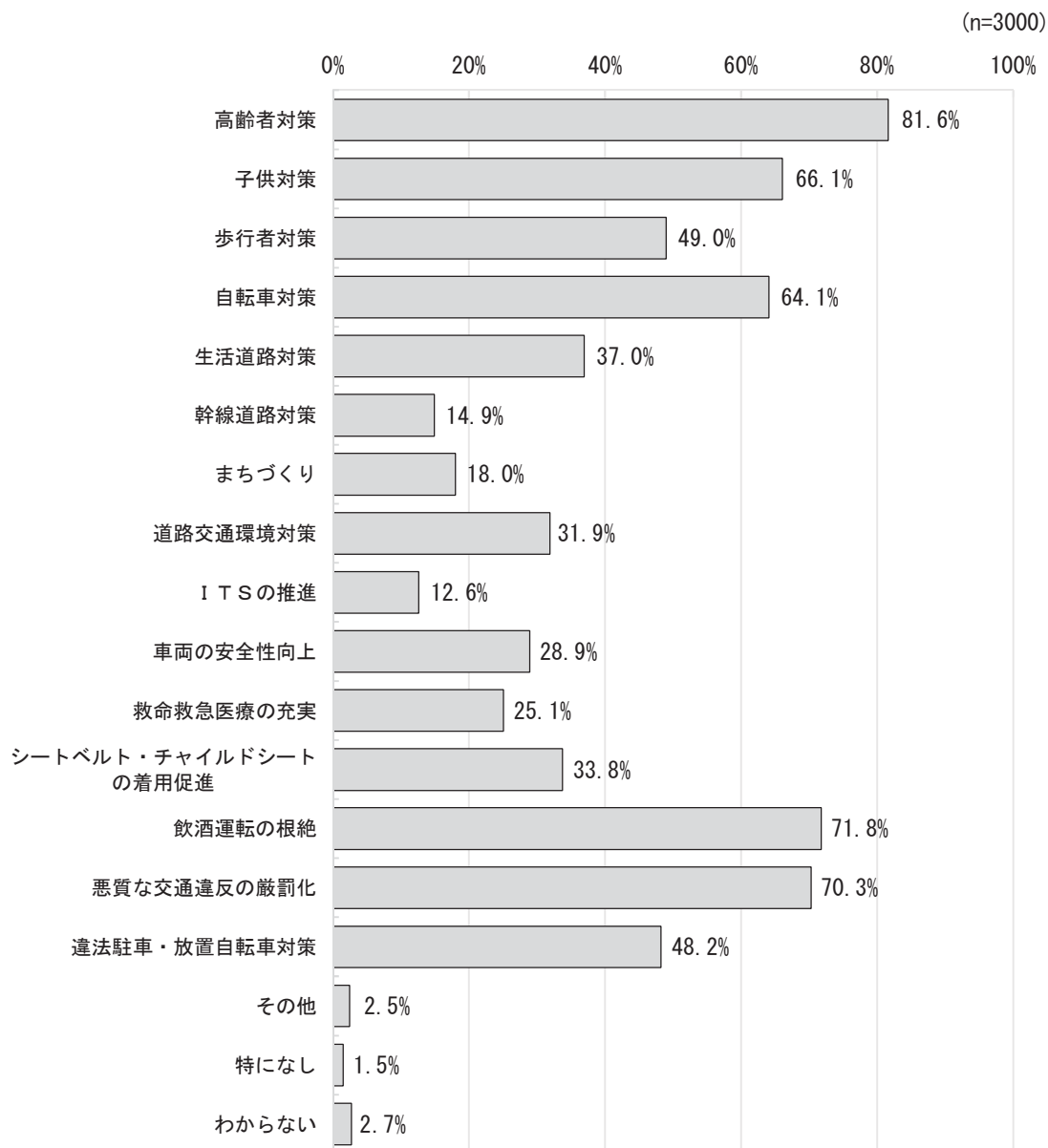
問3 1. 現在、進められている交通安全対策について、今後も重要だと思いますか。該当するものを1つお答えください。

・現在進められている交通安全対策について、重要だという意見が特に多かったのが「道路交通環境の整備」(86.6%)、「道路交通秩序の維持」(81.2%)であった。逆に重要だと思わないという意見の多かったのは「研究開発及び調査研究の充実」(15.2%)、「損害賠償の適正化を始めとした被害者対策の推進」(13.9%)などであった。



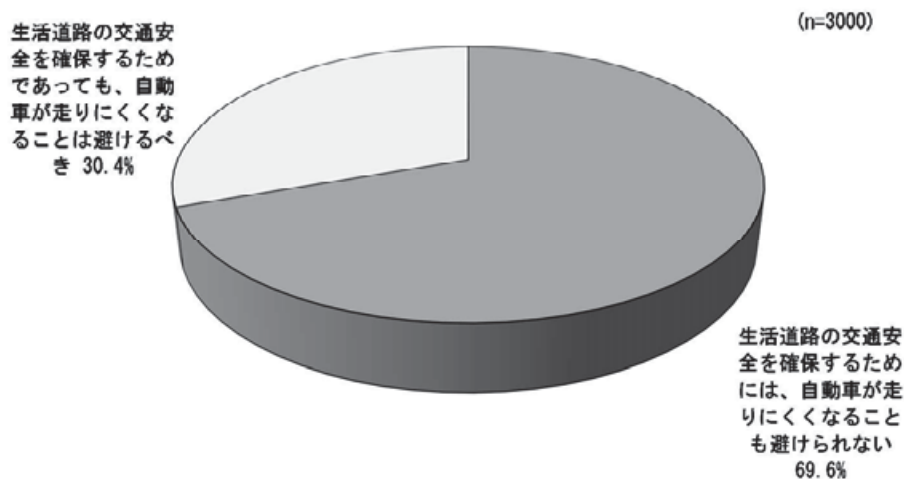
問3 2. 今後の交通安全対策について、次のような観点から見た場合に、重要だと思うキーワードをすべて選んでください。

・今後の交通安全対策について重要だと思うキーワードとして特に多くあげられていたものとしては、「高齢者対策」(81.6%)、「飲酒運転の根絶」(71.8%)、「悪質な交通違反の厳罰化」(70.3%)、「子供対策」(66.1%)、「自転車対策」(64.1%)があげられる。



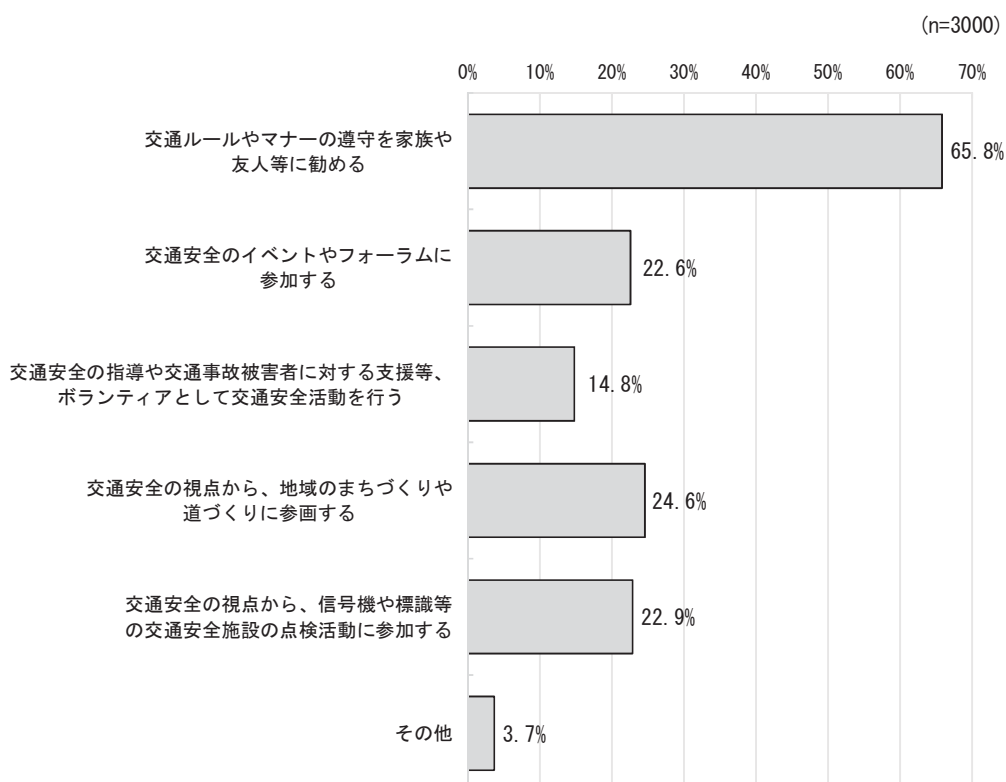
問3 3. 生活道路（住宅地内の道路）における交通安全対策として、車道の一部を狭くしたり路面の一部を盛り上げたりすることで、自動車が走りにくくなり、スピードが抑制されるものがあります。これらの対策について、あなたの考え方に最も近いものを、以下のいずれかから1つ選んで下さい。

・生活道路における安全対策として、「交通安全の確保のためには走りにくくなることも避けられない」（69.6%）という意見が「避けるべき」（30.4%）という意見より大幅に多かった。



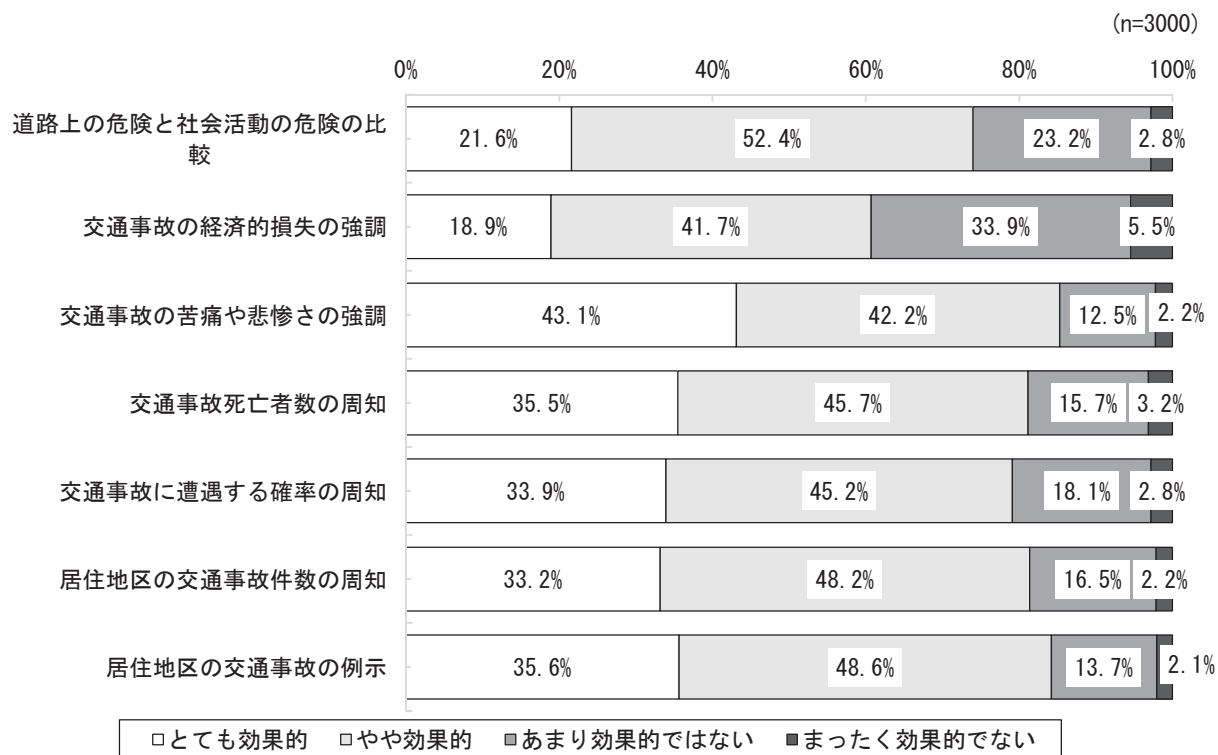
問3 4. 次のうち、あなたが積極的に協力しても良いと思うものは、どのようなものですか。該当するものをすべて選んでください。

・回答者が積極的に協力しても良いと考えていることは「交通ルールやマナーの遵守を家族や友人等に勧める」（65.8%）が顕著に多く、次いで「交通安全の視点から地域のまちづくりや道作りに参加」（24.6%）と続くが回答率は大幅に減少していた。



問35. あなたは、交通安全問題の深刻さを国民に訴えかけるために、以下の方法ほどの程度効果的だと思いますか。それぞれの方法について、効果の度合いをそれぞれ1つ選んでください。

・交通安全問題の深刻さを国民に訴えかけるために、効果的であるといった回答（「とても効果的」「やや効果的」）が特に多かったものとしては、「交通事故の苦痛や悲惨さの強調」（85.3%）、「居住地区の交通事故の例示」（81.4%）があげられる。



問35-2. また、上記問35の(1)から(7)までの方法以外に効果的な方法がございましたら、ご意見を具体的にご記入下さい。(自由記述式)

■回答として挙げられた主な意見

- ・自転車の交通ルールの周知や、違反取締りの強化、厳罰化等。
- ・歩行者の交通ルールの周知。
- ・高齢者の運転に対する対策（講習会の実施や、免許返納の促進等）
- ・歩行者や自転車の通行空間の確保や、交差点へのミラー設置等の道路環境の整備。
- ・取締りの強化や加害者に対する厳罰化。
- ・飲酒運転や危険ドラッグを使用した運転の予防対策や、厳罰化。
- ・交通ルールやマナーについて学校等で教育する。
- ・テレビやインターネットを通じて交通安全に関する広報を行う。
- ・事故の多発地点について広報を行う。
- ・交通事故の悲惨さや恐ろしさ、事故の被害者やその遺族の事故後の姿等を知ってもらう。 等

問36. 今後の交通安全対策についてあなたのお考えをお答え下さい。(自由記述式)

■回答として挙げられた主な意見

○高齢者や子供への対策強化

- ・高齢化社会に対応して、高齢者に重点をおいた対策を検討すべき。
- ・通学路の安全対策等、子供の安全確保のための対策が必要。 等

○道路環境の整備等

- ・歩車道の分離や自転車通行空間の確保、歩道の拡幅等の道路環境整備を行うべき。
- ・生活道路、幹線道路、高速道路に分けて車両の速度を制限すべき。 等

○取締りの強化・厳罰化

- ・スマートフォンを見ながら通行する歩行者や自転車・自動車運転者が多いので取り締まるべき。
- ・悪質なドライバーや危険運転への取締りの強化や厳罰化を推進すべき。 等

○飲酒・薬物対策の推進

- ・飲酒や薬物使用時の事故に対する厳罰化や、逃げ得を許さないような法整備が必要だと思う。
- ・飲酒や脱法ドラッグを服用して運転する人への罰則を強化してほしい。 等

○一人ひとりの意識の改善（及びそのための教育や啓発活動の推進）

- ・一人ひとりのマナー意識の向上が不可欠だと思う。
- ・一人一人が交通事故を身近なものであると知るとは重要であると感じるので、多くの人が触れるテレビや新聞等のマスメディアで事故を防ぐ方法や運転者の心構えについて積極的に訴えていくべきだと思う。 等

○安全教育の推進

- ・学校や職場でも交通安全に関する教育機会を増やす。
- ・小さい子でも歩くようになったら歩く時の交通マナーを、自転車に乗るようになったら自転車運転中のマナーを、各年代に応じた指導が必要だと思う。 等

○運転免許制度の見直し等

- ・自己診断で運転をやめたほうがいいかなと感じたときに一度相談できる機関があるとよい。
- ・免許を返納する年齢を国で定めるべきだと思う。そのかわり、返納した方への公共のバスや電車など使いやすくするサポートをする。 等

○車両の安全性を高める

- ・車自体の安全性能の向上を図るべき。
- ・自動運転等の車両の安全装備の充実化を図り、人には出来ない安全対策を充実させる。 等

○地域レベルでの対策が必要

- ・地域で子供、お年寄りを守ることが必要であり、そのためにボランティアの見守りが必要。
- ・地域での具体的な危険を周知させる活動を増やすべきだと思う。 等

2) クロス集結果

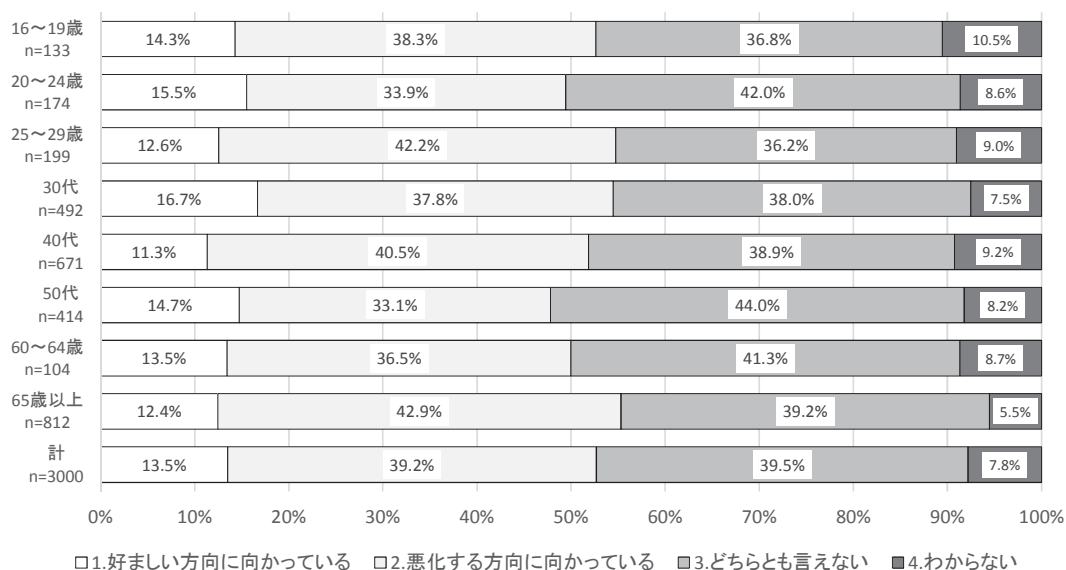
今回特に注目すべきと思われる問について、抜粋してクロス集計を実施した。

① 問13、問14

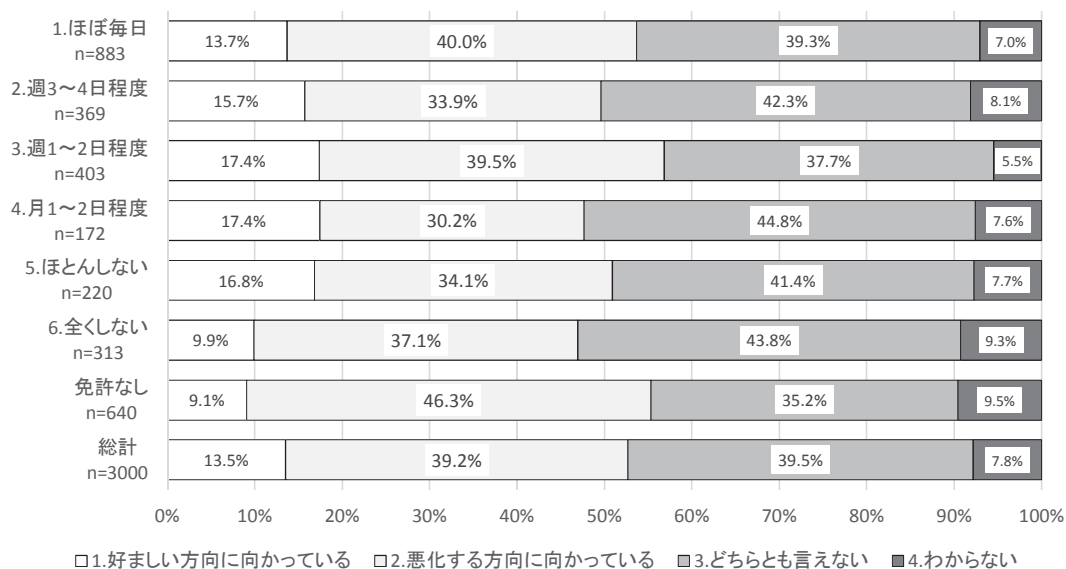
死者数及び死傷者数が減少を続けているにもかかわらず、「好ましい方向に向かっている」や、事故が「減った」と考えている人が少ないことから、集計を実施した。

問13. 交通事故の情勢はどのような方向に向かっていると思いますか。あなたの考えや印象が一番近い情勢を1つ選択してください。

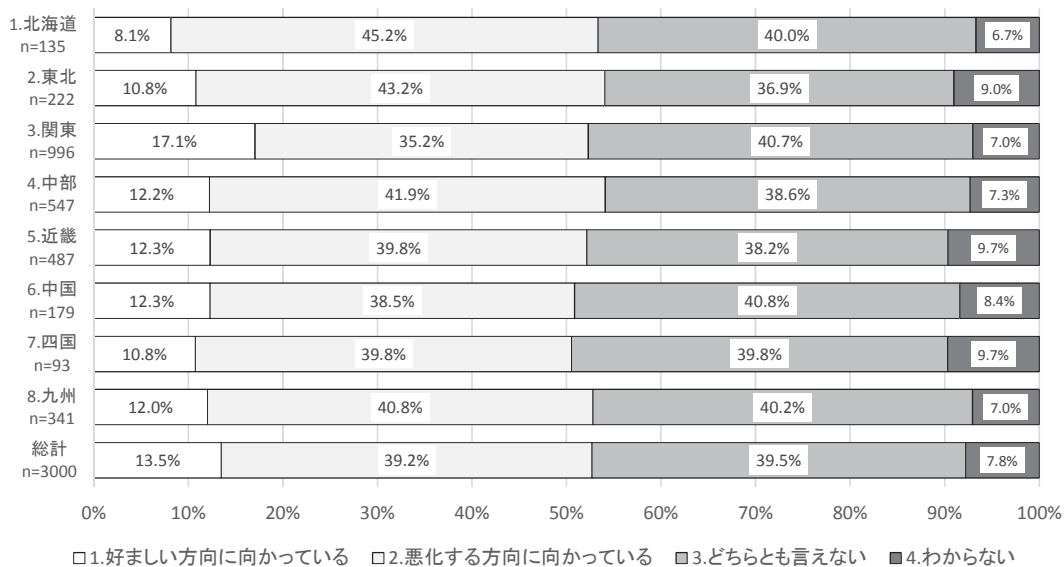
■年齢階層別



■運転頻度別



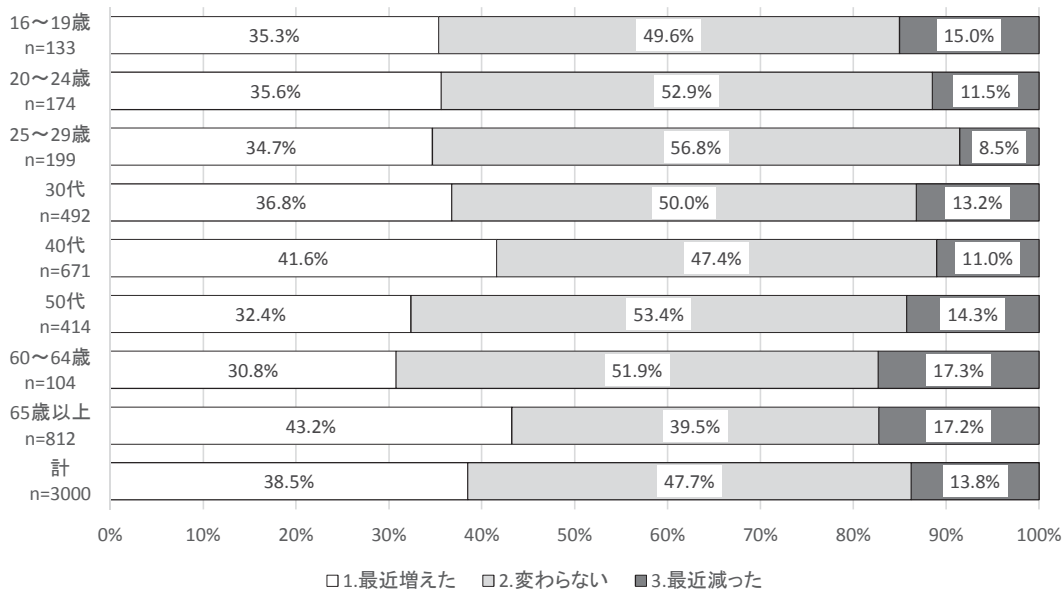
■ 地域別



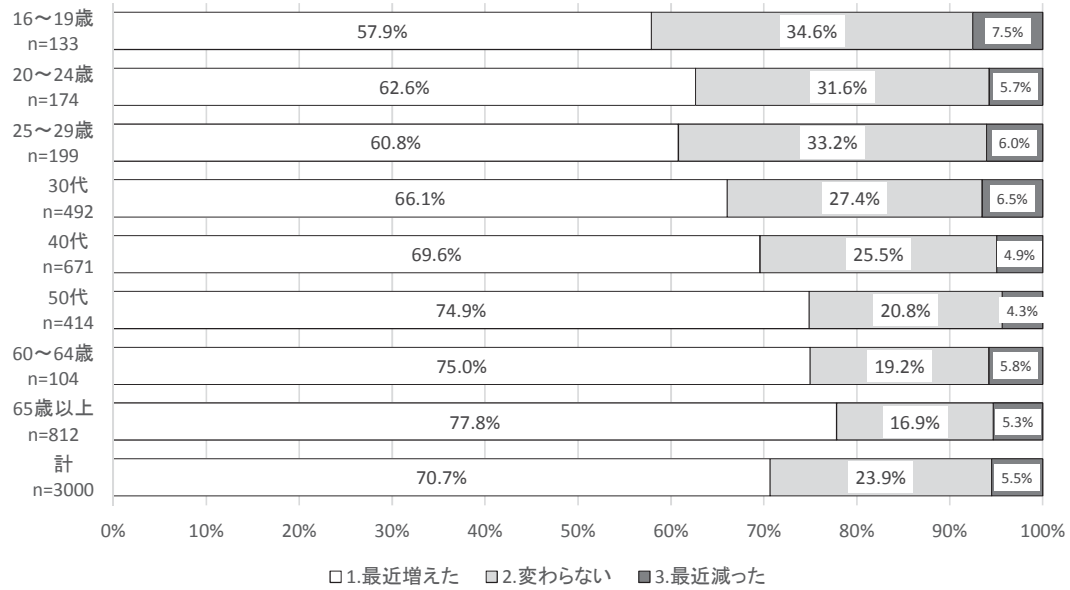
問 1 4. 下記のそれぞれの項目について、最近、どのような方向に向かっていると思いますか。あなたの印象が一番近いものを、各項目で1つずつ選択してください。

■ 年齢階層別

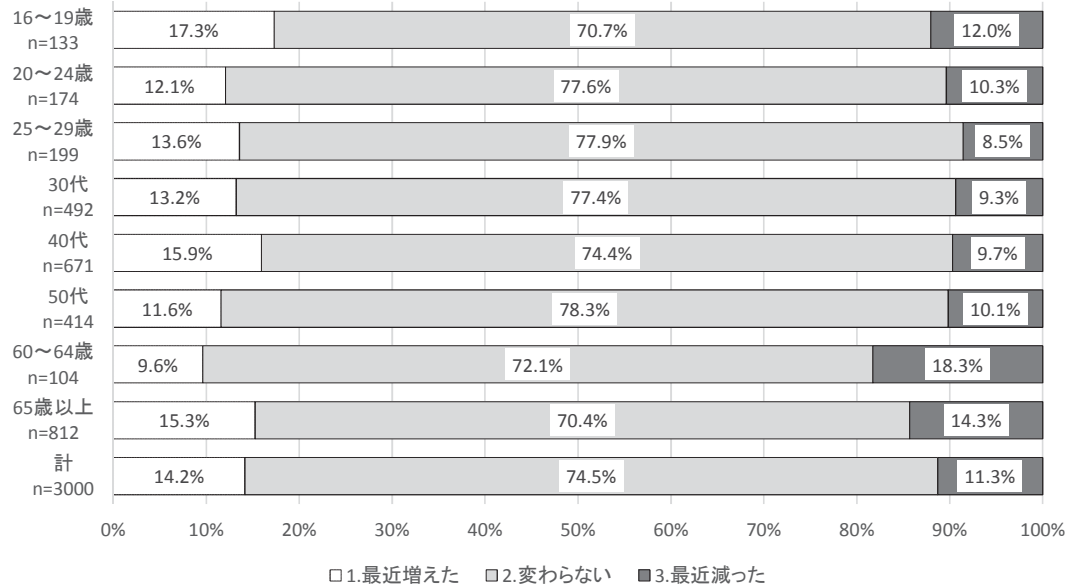
A) 交通事故の発生



B) 悪質・危険・迷惑な交通事故



C) 自分の身近な所での交通事故



D) 交通事故による死者・重傷者

